

令和7年度 新潟県農業大学校 読書課題

「目標達成のルールを学ぼう」

学生コード番号

1年

経営科

専攻

番

氏名

※提出時に氏名等の記載は必要ですが、学生コード番号、名簿は入校後に記すため、指示があるまで記載しないでください。

この冊子は入校予定者の読書課題です。まずは、書籍「目標達成のルール」を一通り読み、内容の大枠をつかんでから、再度、読み直し、この課題に取り組んでください。課題に取り組めば気づくでしょうが、書籍の内容は本校のディプロマポリシーに通じるところがあります

※ディプロマポリシーは表紙の裏面に示されています。

本校は2年制の学校です。その期間に、毎日の授業（講義、演習、実習）、早朝や放課後の農場管理、校外研修、資格取得、進路活動、自治会活動等の多くの活動があります。それらに取り組み、自らを農業人材として成長させるヒントを書籍から探し出してください。

また、本校は全寮制の学校でもあります。寮では共有スペースの掃除、日々の洗濯等の他、様々な人間関係も繰り広げられるでしょう。それら全てが自分自身を成長させるチャンスになると捉えることが大切だと考えます。そのことも書籍には書かれているように思います。

さて、みなさんがこれから生きていく未来は「VUCAの時代※」となります。本校では、その時代に対応して成功する農業人材の育成を目標に、教育目標を改訂するなど教育環境の整備に努めてきました。入校後に、その教育環境をみなさんが積極的に利用し、取り組んでいくために、そのヒントを今から得ておいてもらいたいと思い、この課題を準備しています。

「えっ！農業を学びたくて大学校に入校するのに、この課題は農業と直接関係しないのでは？」とはじめは感じるかもしれません。確かに、農業を行う上で必要なスキルや高めるべき農業特有な資質・能力は、この書籍には記されていません。しかし、農業を含めて、様々な分野で成功し、活躍している人には共通するスキルや資質・能力があります。その内容をこの課題に取り組むことで、理解しておくことが、実は非常に大切なのです。

あなたがたが、この課題を終えたとき、本校のディプロマポリシーに込められた意味を理解できるような心が育まれているでしょう。皆さんの入校をお待ちしています。

※VUCAの時代とは、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態にある時代のことをいう。

1 課題の内容

- (1) 書籍「目標達成のルール」を読み、内容の大枠を正しく理解する。
- (2) この冊子の課題に取り組む。（感想や抱負は原則5行以上書くこと。）

2 読書課題「目標達成のルールを学ぼう」の提出日 入校式当日 4月8日（火）



新潟県農業大学校 ルーブリック

DP	構成要素	各要素の定義	段 階			
			4	3	2	1
			目指すレベル	概ね満足なレベル	クリアすべきレベル	努力を要するレベル
1 【仕事力】	(基本姿勢) 5Sの習慣化	職業人にとって5S(整理・整頓・清掃・清潔・美)が大切であることを理解し、5Sを習慣化する力	常日頃より、整理・整頓・清掃・清潔に取り組みと共に、自分を自分で美ける姿勢を 発揮 することができる。	整理・整頓・清掃・清潔に取り組む姿勢を見せ、併せて自分で自分を美けようと 努めている 。	整理・整頓・清掃・清潔に取り組み、自分で自分を美けることが大切と 理解 している。	整理・整頓・清掃・清潔に取り組み、自分で自分を美けることが大切と 気付 いている。
	専門知識・技能	応用科学としての農業の専門知識と専門技術を、基礎科学と関連づけて理解し、実践の場で知識・技術を応用し、活用していく力	常日頃より、農業の専門知識と技術を、基礎科学と関連付けて理解し、実践の場で知識・技術を応用し、活用 することができる 。	農業の専門知識と技術を、基礎科学と関連付けて理解し、実践の場で知識・技術を応用し、活用しようと 努めている 。	農業の専門知識と技術を、基礎科学と関連付けて理解し、実践の場で知識・技術を応用し、活用することが大切と 理解 している。	農業の専門知識と技術を、基礎科学と関連付けて理解し、実践の場で知識・技術を応用し、活用することが大切と 気付 いている。
	経営管理能力	社会及び仕事の世界の現実を理解し、経営目標の達成を常に意識し、その達成に向け経営資源をバランスよく管理し続ける力	常日頃より、農場運営管理を気にかけて、経営目標の達成に向け経営資源の活用を工夫し、 管理することができる 。	農場運営管理を気にかけて、経営目標の達成に向け経営資源の活用を工夫し、管理しようと 努めている 。	農場運営管理を気にし、経営目標の達成は経営資源の活用を工夫した管理が大切と 理解 している。	農場運営管理を気にし、経営目標の達成は経営資源の活用を工夫した管理が大切と 気付 いている。
2 【人間力】	(基本姿勢) 学ぶ姿勢	学んで成長することに職業人としての喜びを感じ、好奇心を持って学び、考え、行動していく力	常日頃より、学んで成長することに職業人としての喜びを感じ、好奇心を持って学び、考え、 行動し続けることができる 。	学んで成長することに職業人としての喜びを感じ、好奇心を持って学び、考え、行動し続けようと 努めている 。	学んで成長することが喜びであり、好奇心を持って学び、考え、行動し続けることが大切と 理解 している。	学んで成長することが喜びであり、好奇心を持って学び、考え、行動し続けることが大切と 気付 いている。
	生命の尊厳	動植物への愛情、及び人(及び人のこころ)を大切にすること人権意識	常日頃より、動植物への愛情を示し、また、人を大切にすること人権意識を持ち合わせ、 発揮することができる 。	動植物への愛情を示し、また、人を大切にすること人権意識を持ち合わせ、 発揮するように努めている 。	動植物への愛情を示し、また、人を大切にすること人権意識を 発揮 することが大切と 理解 している。	動植物への愛情を示し、また、人を大切にすること人権意識を 発揮 することが大切と 気付 いている。
	社会性に富んだ柔軟なコミュニケーション力	相手を尊重した柔軟性のある交流を通して、自分の価値観を磨く力	相手を尊重した柔軟性のある交流を通して、自分の価値観を 磨くことができる 。	相手を尊重した柔軟性のある交流を通して、自分の価値観を磨こうと 努めている 。	相手を尊重した柔軟性のある交流を通して、自分の価値観を磨くことが大切と 理解 している。	相手を尊重した柔軟性のある交流を通して、自分の価値観を磨くことが大切と 気付 いている。
	人間力	素直、真面目、一生懸命で、明るく、前向きに生き、挑戦心を持って、周囲を巻き込みながら、自立的に取り組む力	常日頃より、素直、真面目、一生懸命で、明るく、前向きに生き、挑戦心を持って、周囲を巻き込みながら、自立的に 取り組むことができる 。	素直、真面目、一生懸命で、明るく、前向きに生き、挑戦心を持って、周囲を巻き込み、自立的に取り組むように 努めている 。	素直、真面目、一生懸命で、明るく、前向きに生き、挑戦心を持って、周囲を巻き込み、自立的に取り組むことが大切と 理解 している。	素直、真面目、一生懸命で、明るく、前向きに生き、挑戦心を持って、周囲を巻き込み、自立的に取り組むことが大切と 気付 いている。
3 【課題解決力】	自ら考える力 (G-R-P力)	自ら課題を見つけ、課題解決に向け情報を集め分析し、成果が期待できる解決策を考えて作り、段取りをする力	常日頃より、自ら課題の発見に努め、その課題解決に向け情報を集め分析し、解決策を考えて作り、 段取りをとることができる 。	自ら課題の解決意識を持ち、情報を集め分析し、解決策を考えて作り、段取りを組もうと 努めている 。	課題解決には、自ら課題解決意識を持ち、情報分析し、解決策を考えて作り、段取りを組むことが大切と 理解 している。	課題解決には、自ら課題解決意識を持ち、情報分析し、解決策を考えて作り、段取りを組むことが大切と 気付 いている。
	力強い行動力 (PDCAの力)	課題解決に向け、計画したことに当事者意識で取り組み、成果を出すように考え続け、柔軟かつ力強く行動する力	常日頃より、計画したことに当事者意識で取り組み、成果を出すように考え続け、柔軟かつ力強く 行動することができる 。	計画したことに当事者意識で取り組み、成果を出すよう考え続け、柔軟かつ力強く行動しようと 努めている 。	計画したことに当事者意識で取り組み、考え続け、常々、柔軟かつ力強く行動することが大切と 理解 している。	計画したことに当事者意識で取り組み、考え続け、常々、柔軟かつ力強く行動することが大切と 気付 いている。
4 【創造力】	思い続ける力	夢を叶えようとする情熱と志を忘れずに、夢について考え続ける力	常日頃より、夢を叶えようとする情熱と志を忘れずに、夢について 考え続けることができる 。	夢を叶えようとする情熱と志を忘れずに、夢について考え続けようと 努めている 。	夢を叶えようとする情熱と志を忘れずに、夢について考え続けることが大切と 理解 している。	夢を叶えようとする情熱と志を忘れずに、夢について考え続けることが大切と 気付 いている。
	ひらめく力	周囲の情報をヒントに気づきを得ようと努め、ひらめきを生んで、新しい価値観を生み出していく力	常日頃より、周囲の情報をヒントに気づきを得ようと努め、ひらめきを 生み出すことができる 。	常に周囲の情報をヒントに気づきを得ようと努め、ひらめきを 生み出すことができる 。	常に周囲の情報をヒントに気づきを得ようと努め、ひらめきを 生み出す ことが大切と 理解 している。	常に周囲の情報をヒントに気づきを得ようと努め、ひらめきを 生み出す ことが大切と 気付 いている。

※ DP ディプロマポリシー

※ G-R-P Goal(目標)・Research(分析)・Plan(計画)

※ PDCA Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)

これから、社会は確実に大きく変わります！

「農業だけは例外」ということはないでしょう。

**その未来を、本校のディプロマポリシーと橋渡しをして考え、
2年間の大学校生活の過ごし方を考えてみましょう。**

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

新潟県農業大学校規則等に関する規程に基づく所定の単位を修得し、卒業要件を満たした学生に対し専門士（農業専門課程）の称号を付与します。

なお、卒業時に、情熱と志を持って農業に取り組み、夢を叶える人材となるために、身に付ける力は以下のとおりである。

- （１）職業人に求められる５Ｓ（整理、整頓、清潔、清掃、躰）の習慣化、高度な専門知識・技術、ビジネス人としての経営管理能力からなる「仕事力」
- （２）職業人に求められる学ぶ姿勢、生命の尊厳、社会性に富んだ柔軟なコミュニケーションを通して価値観を磨くことで育まれる、より広く深い「人間力」
- （３）課題解決に向けて自ら考える力と、実践から答えを導き出す力強い行動力からなる「課題解決力」
- （４）社会の変化やグローバル化に対応した新しい価値をつくる豊かな「創造力」

※ディプロマポリシーに基づくルーブリックが冊子の後ろにありますので、目を通して、理解を深めましょう。

もしかすると、各課題の内容の趣旨に共通点が多いために、あなたがこれから取り組む課題の答え（感想）は似たようになることも多いかもしれません。しかし、それ自体は全く問題はありません。この課題の取組で最も大切なのは、あなた自身が入校後の姿を想像ながら、成功のイメージを作ること、そして課題にワクワク、イキイキ、楽しみながら取り組むこと自体にあります。それが出来れば「合格」です！

【課題Ⅰ】 テーマ「 心のコップを上に向ける 」

83ページの「心のコップ」の図を見てください。

心のコップと、そこに注がれる水は、例えです。

「心のコップが上を向いている」状態は、「学ぼうという姿勢がある」状態のことを言います。「注がれる水」は「自分の目標達成に必要となることや、自分を成長させてくれる様々な経験や教え」のことを言います。

同じ授業、同じ研修、同じ活動をして、学ぼうという姿勢がある、こころのコップが上を向いている状態の人は、授業や研修の内容を心にしっかりとため込み、成長につなげていきます。しかし、学ぼうという姿勢のない人は、コップが下向きですので、授業の場にいたとしても成長があまり見込めません。

そのようなことから、本の解説では、「目標を達成するには、自分を成長させるものを吸収できるように、『心のコップ』を上に向ける必要がある。」と書かれています。

さて、皆さんが大学校で達成したい目標は何ですか？

いろいろな答えがあるでしょう。しかし、そこに共通するのは、この左のページに記載されている新潟県農業大学校のディプロマポリシーに示される4つの力を高めることです。

この4つの力を2年間で身につけましょう。

やや唐突に感じるかもしれませんが、その力を身につけるためには、まずは「心をきれいにする」ことが必要であり、「時を守る」「場を清める」「礼を正す」取組が必要と示されています。（そのことを書籍の内容から理解できると素晴らしい理解力であると思います。）

- これに関する書籍内容と、本校のディプロマポリシー等を基にして、あなたの抱負を書きなさい。

【課題2】テーマ「 未来思考への転換 」

96ページを見てください。「過去思考」と「未来思考」が記されています。
大学校では、みなさんから「未来思考」で取り組んでほしいです。

この「未来思考」と「過去思考」の特徴をまずは理解してみましょう。

96ページには「過去思考では『過去→現在→未来』の順で考える」こと。また、未来思考は、「なりたい未来から逆算して現在をどうするか（『未来→現在→過去』の順で）考える。これが未来志向!!」と記されています。

今、あなたは、これからの自分の大学校生活をどの様にイメージしていますか？

「過去思考」で考えると、「高校のときは……だったから、大学校は……だろうな」と、過去の経験（多くの場合マイナスの経験？）と結びつけて大学校生活をイメージすることになります。そのとき無意識のなかであなたはそのイメージに従い、それに向かって行動しやすくなるかもしれません。過去思考は、このように、あなたのところを過去の失敗に縛って、成功を難しくするように働く力があるようです。

一方、逆に、そのことを「未来思考」で考えるとどうなるでしょうか。「将来、成功する農業者は〇〇であると思うので、大学校では〇〇に挑戦していこう！」となります。そして、未来の夢や目標から逆算して大学校生活をイメージし、行動していくこととなります。この未来思考では、大学校生活でやるべきことが見つけやすく、自分の未来を自分で操作しやすくなるので、多くの成功・成果を手に入れやすくするように働く力があるとのことです。

- これに関する書籍内容と、本校のディプロマポリシー等を基にして、あなたの考えを書きなさい。

【課題3】 テーマ「 パフォーマンスの方程式 」

127ページの「パフォーマンスの方程式」の図を見てください。

「パフォーマンス（成果）は『スキル・やり方・方法』と『気持ち』との掛け算で決まる。」と記されています。

このことは、「気持ち」を前向きにして、モチベーションを高めていけば、成果が高まることを意味しており、学習成果を高めていく上での大きなヒントがあります。（モチベーションの高め方はp49「5 目的・目標の4観点」にも記載があります。）

その一方、反対に「スキル・やり方・方法」がよくても、「気持ち」が低いと、掛け合わせた成果は高まらない。また「気持ち」がマイナスだと掛け合わせた成果はマイナスになるということも表しています。こころの力はすごいですね。

さて、大学校生活でのパフォーマンス場面として何があるか、主なものを例示します。

- ① 農業の座学授業による知識習得場面
- ② 農業の実習授業による技術習得場面
- ③ 農業の校外研修などのレポート作成場面
- ④ 農業の専門的な資格取得試験の勉強場面
- ⑤ 寮生活の各種取組や自治会活動の取組場面

以上のことを整理すると、「上記①～⑤それぞれの場面で、それぞれの「目的・目標」を明確にし、プラスの気持ちで取り組めば、大学校生活のパフォーマンス（成果）が上がるのは明らかですよ！ただし、仮に『やらされ感』からイヤイヤ取り組めば、同じことをしていても成果はついてきませんよ!!」ということを意味しています。

- これに関係する書籍内容と、本校のディプロマポリシーを基にして、あなたの考えを書きなさい。

【課題4】 テーマ「 心の栄養 」

大学校生活はあなたを含む多くの人と人との働きかけで成り立っています。

そのため、大学校生活の充実、さらに、社会人となった際にイキイキ元気を得るためにも、他者との関係を上手くやるスキルを身につけておくことは大切です。

そのスキルが書籍には次の2つの章で書かれています。

(1) 109ページからの第4章「心を広くするニヤ」

130ページのまとめにある次の3つは大切です。書籍で内容を確認しましょう。

- ① 感謝の気持ちを持ち謙虚でいること
- ② プラスの気持ちを選択し、パフォーマンスを高めること
- ③ ごきげんに働くこと

(2) 131ページからの第5章「心を強くするニヤ」

152ページの「12 心の栄養」にある、他者への働きかけとして「ストーク」を意識して与えること。この実践も大いに必要です。

この第4章、第5章の取組の習慣化を図ることで、これからの大学校生活がうまくいくようにし、先進的な農業経営を担う上で必要な力の一つといえる「他者との関係を上手くやるスキル」を獲得していきましょう。

●これに関係する書籍内容と、本校のディプロマポリシーを基にして、あなたの考えを書きなさい。

【課題5】 テーマ「 予測と準備 」と「 ルーティンチェック 」

158ページの「14 予測と準備」では、「成功する人は、最低最悪の状況を予測し、最高の準備を行い、楽観的に対応します。」と書かれています。

では、大学校生活であり得るかもしれない最低・最悪な状況を列記してみます。

- ① 寮の個室の整理・整頓・清掃が上手くできずに、部屋が乱雑で汚く不潔
- ② 洗顔、食事、入浴、洗濯、睡眠の生活リズムが作れず、心も体も不健康
- ③ 部屋の乱雑さから、学習プリント類が行方不明で試験勉強が進まない
- ④ 寮生活がルーズで、Wi-Fi をゲームに使い、寝不足となり授業中の集中力欠如
- ⑤ 農業学習の専門用語の多さに戸惑い、学習の早い段階でのつまずき
- ⑥ 農業学習の計算問題ができずに、学習の早い段階でのつまずき
- ⑦ 勉強習慣がなく、予習・復習せず、周囲から「やる気ない人」と見られ孤立化

ここに記した最低最悪な状況を回避するために「備えあれば憂いなし」として、入校前に次の様なことに取り組んでおくことがオススメです。

- ① 毎日、家の掃除（例えばリビング、自分の部屋）をする。
- ② 毎日、家で洗濯をして、干して、乾いたら片付ける。
- ③ 毎日、家で一定時間 Wi-Fi を勉強（You-tube で農業学習の予習など）に使う。
- ④ 毎日、課題「農業を数字で捉えよう」の問題に取り組み、理解を深める。

上記の最低最悪の回避行動となる①～④を、自分なりにアレンジして、無理なく続けられる行動として、145ページを参考に、ノートなどに自分のオリジナルのルーティンチェック表を作成し、○がつくように毎日取り組んでみましょう。

●ルーティンチェック表を作成し、しばらくの期間取り組んでの感想（抱負）を書きなさい。

※取組の期間はあなたが考えて OK です。最低でも1週間、出来れば入校まで取り組んでほしいです。

【課題6】 テーマ「 書籍『目標達成のルール』の全体を通じて 」

1 ページからはじまる「はじめに」を読むと、2～3 ページに「成功者の共通点とはざっと次のようなことです」として、次の8つのことが記されています。

- ① 自分の目標を具体的な言葉にしている。
- ② 目標達成への具体的な行動を決めている。
- ③ スモールステップで目標に向かっている。
- ④ 振り返りと気づきを毎日続けている。
- ⑤ ピンチを予測し備えている。
- ⑥ 自分の感情をマネジメントできる。
- ⑦ 他者への感情や敬意を忘れない。
- ⑧ 以上のようなことが習慣化されている。

そして、その成功者の共通点を身につけるツールとして次のものが紹介されていました。

- ① 夢かなシート （3 1 ページ 他）
- ② 長期目的・目標設定用紙 （4 3 ページ 他）
- ③ オープンウインドウ6 4 （5 8 ページ 他）
- ④ 日誌 （9 8 ページ 他）
- ⑤ ルーティンチェック表 （1 4 2 ページ 他）

本校のディプロマポリシーで示される力を身につけるために、入校後はこれらのツールの使い方の一部を紹介します。それを習慣化することを期待しています。

- この課題全体を通して感じたことや、大学校入校に向けた抱負や決意などを自由に書いてください。

上記の5つのツールの使い方などに興味がある場合は、関連する書籍を購入して読んだり、You-tube でツールの使い方を検索し、動画を見て楽しみながら予習しておくことをオススメします。

タイトル

経営科 専攻 番 氏名